

漢字のかくれんぼ

…王の中から玉さがせ

千葉県野田市立南部小学校教諭

卯月 啓子



漢字のかくれんぼ絵本

王と玉のようなく似た漢字を選んで、紙面に描かれた王様の絵の全面に「王」という漢字を無数に散りばめて模様を作り、その中に一つだけ「玉」という漢字を書いて、それを見つける遊びをします。その絵本を作ることで、文字の形と意味とを確実に習得する学習になり、その絵本を見て、隠れた文字を探し当てて遊ぶことを通して、自分が書いた文字以外の漢字の学習もできます。

1 実践したミニ単元「エジホン」

私が実践した「漢字のかくれんぼ絵本」作りは、『エジホン』（TBSラジオ「ミッドナイト パーティ」・月刊「ポップティーン」編 飛鳥新社 一九九四年）という本をヒントにしたものです。そこで、子どもたちにその本を見せて、みんなでも「エジホン」を作ろうよと

呼びかけましたので、実際の学習活動を通してできあがった本には「エジホン」と名づけました。

子どもたちは時間を忘れて夢中になって漢字に取り組み、「漢字っておもしろいんだね」と異口同音に言っていました。実践したのは、千葉県野田市立中央小学校一九九五年度四年五組（三十五名）です。

2 単元の流れ

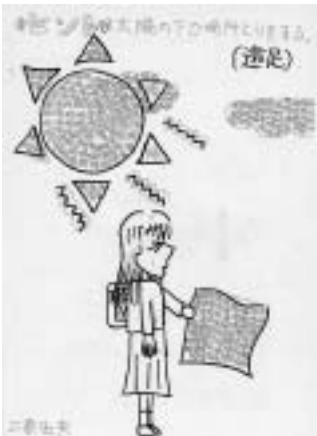
一 時間目 市販されている『エジホン』を紹介して楽しみ合いました。私はやり方を説明しました。「自分が間違えやすい漢字を一つ選んで、それに似た漢字を一つ選んでください。それから、その二つの漢字が表す意味を絵に描いて、そこに漢字をいっぱい書き込むのよ。そして、ヒントをつけるのよ。」と付け加えました。



二・三 時間目 子どもたちは、朝から「エジホン」作りを楽しみにしていて、私が教室に入っていくと、子どもたちが教卓の周りに集まって、『エジホン』に見入っています。笑い合ったり驚き合ったりして盛況です。授業が始まると、子どもたちは自分の分担する漢字を決め、それを「エジホン」の絵にする作業と、絵に隠れた漢字を見つけるヒントの文を作ることとを始めました。たいていの子は夢中になってかいていて、他の子の作品を見るゆとりもないようでした。

ヒントは、一對の似た漢字に関係したぴったりの短文を作らなくてはならないので、考え出すのにみんな苦労していました。上原さんは「陽」の文字の中から「場」を探させるヒントとして、「太陽の下で場所とりをする。（遠足）」と書きました。吉井君は「働いている人が運動をしている。」というヒントで、「働」と「動」のエジホンを作りました。

何人かの子は書いている途中で、「はね」や「はらい」などあやふやな字は間違え



てないか私に確認を求めにきました。清書段階でも一度チェックするようにしました。正しく書かれていない字があると、そこで直させました。「今までこの書き方でいいと思っていた。」と言つ子もいて、書き癖など細かいところまで指導する絶好の機会となりました。最終的には、全員が二ページ以上、多い子で四ページ分を完成させました。

四 時間目 この時間に答えの部分を書き加えて印刷原稿が完成しました。後ほど印刷製本して、一ミニエジからなる『エジホン』絵と字で楽しむ不思議な画集』ができあがりました。

漢字のかくれんぼカルタ

「漢字のかくれんぼ絵本」と同じ発想で、漢字カルタを作って、実際にカルタ取りゲームをするミニ単元（全五時間）も実践しました。絵本作りとは一味違った面白さがあり、学習意欲と効果も抜群でした。実践したのは、千葉県野田市立南部小学校一九九九年度五年二組（三十九名）です。

*「漢字のかくれんぼ」は、平成十三年度検定済光村図書国語教科書二年（下）「ことばあそび大会」の中に取り上げられています。が、中学年でも高学年でもできます。一時間でも実践できま